



星の郷総合教室

No. 211

平成30年1月25日発行

電話072-895-6230

月	日	曜日	予定
1	25	木	
	26	金	
	27	土	i-test 1月一斉実施 特別練習 西日本大会申込締切
	28	日	近畿大会大阪代表選手選考会
	29	月	授業料引き落とし
	30	火	
	31	水	
2	1	木	
	2	金	
	3	土	
	4	日	
	5	月	
	6	火	
	7	水	
	8	木	授業料引き落とし予備日
	9	金	
	10	土	特別練習
	11	日	1～3級能力検定・段位試験
	12	月	振替休日
	13	火	中学生クラス
	14	水	
	15	木	
	16	金	
	17	土	
18	日		
19	月	能力検定発表	
20	火	中学生クラス	
21	水		
22	木		
23	金		
24	土		
25	日		
26	月		
27	火	段位試験発表	
28	水	授業料引き落とし	
3	1	木	
	2	金	
	3	土	暗算検定

★2月11日検定について★

1・2・3級・段位…午前8時開始
 いずれの試験も星の郷教室で実施します。当日は午前7時に教室を開けます。自由に練習してください。前日受検の皆さんには個別に時間をお知らせします。

★特別練習の予定と対象者★

1月27日(土) 午後5時～7時

- アドバンスト・チーム (A-team)
- 近畿大会大阪府予選出場者
- 1～3級・段位受験者

2月10日(土) 午後3時～7時

- 1～3級・段位受験者のみ

★中学生クラス★

2月13日と2月20日は、午後7時20分～9時まで中学生クラスを設けます。学校の勉強やそろばんの練習に活用して下さい。

★全国計算競技大会結果★

1月7日 たかつガーデン

団体総合競技 2位 星の郷総合教室
 (大内峻聖 金本三夢 金本愛夢)

個人総合競技高校生以下の部

- | | | | |
|-------|------|-----|------|
| 3位 | 大内峻聖 | 4位 | 金本三夢 |
| 15位 | 金本愛夢 | 18位 | 梶本悠生 |
| 22位 | 岩成海 | 23位 | 江口尊琉 |
| 読上暗算 | | 4位 | 大内峻聖 |
| 読上算 | | 2位 | 金本三夢 |
| | | 2位 | 金本愛夢 |
| 種目別競技 | 見暗 | 5位 | 金本愛夢 |
| | 乗暗 | 1位 | 金本三夢 |

伝票 5位 大内峻聖

※日本有数の難度の高い問題で行われる計算大会に星の郷教室から今年は10名が出場しました。みなそれぞれの課題と目標をもち、正月返上で練習に励んだ参加者もいることでしょう。大会や検定は、今の実力を本番でどれだけ発揮できるかを試す場です。緊張感に押しつぶされることもあるでしょうし、逆に十分に実力を出せる場合もあることでしょう。

結果に正面から向き合い、練習中何が足りていて何が足りていなかったを真摯に考えることが大会や検定にチャレンジする意義の一つです。

結果にとらわれて、出来不出来のみで取り組みの是非を論じていると、上述の意義を見失いがちになります。大会は、指導者として見失ってしまいがちな、いや、指導者だからこそ見失ってしまうこの意義を思い起こさせてくれる機会でもあります。

出席時間20時間以上の生徒

(1月20日までの1ヶ月)

西畑美伶48 奥田花48 久本和奏45 林和花42 澤田一心39 井上心結35 高山優35 福原健太35 山内美空35 林寿百34 藤江茉奈34 佐野幹太32 和泉琴音29 松岡亮大29 佐野吟次朗28 和泉初音27 茅島陸斗27 沼田輝27 西井萌27 沼田陽南乃26 松井一真26 永津敦之26 高谷楓乃25 井上楽耀24 清水知愛24 西畑隆智24 森本爽月24 金本愛夢24 大内峻聖23 木下俊大23 藤原梨乃23 久堀力翔22 早野蓮22 松山桃子22 大土井慧賀22 兼松咲菜22 中村颯希22 深江萌黄22 江口尊琉21 川崎柊花21 外間彩乃21 仲井蒼純21 藤原茉央21 小野澤遼20 石川ひなた20 梶原進太20 引波花莉音20 泉脇勇汰20 藤江里奈20 渡邊紘生20

(あと1時間だった皆さん) 茅島悠斗 田中菜摘 松岡

晃大 和泉絢音 大上航正 小林千尋 川崎大樹 中西幹 藤江健太 吉岡春菜

猛スピードばく進中(PERFECT)

(初歩教材PERFECTを1ヶ月で20ページ以上進んだ生徒)

早野碧52 平岡大知37 白濱咲希36 川崎大樹35 青木誠志郎32 西能璃世31 浦上愛陽来24 十河幸嶺23 乾心春23 二反田海翔22 清水知愛21 川邊ころも20 中谷鍾誓20 (あと1ページだった生徒) 角崎琴音

フラッシュ暗算合格者

(1月20日までの1ヶ月間)

- 三段** 林和花
二段 林和花 松岡亮大 小野澤遼 野々村誉良 高谷楓乃
初段 藤原梨乃 若林和花
1級 若林和花 川崎柊花
2級 原田小雪 川崎柊花
3級 江連舞
4級 加地美空 上井唯希 中谷鍾唯 渡邊紘生
5級 福山芽依 櫻木あずさ 林蓮
6級 青田裕哉 沼田陽南乃
7級 山川侑那 辻心絆 野々村快生 薄井徳寿
8級 秋裕人 森田恭生 堀田晃希 黒田麻友
9級 藤江里奈 浜崎馴也 八幡泰嘉 青田知晃
10級 和泉絢音 上之園実桜 森井麗音 藤江里奈

○星の郷総合教室は、一般社団法人日本珠算連盟の主要な構成団体の一つである一般社団法人大阪珠算協会に加盟しています。生徒の皆さんが受験しているすべての検定試験は、日本商工会議所・日本珠算連盟・大阪珠算協会のいずれかが主催、もしくは共催しているものです。また参加している

競技大会の多くもこれらの団体主催によるものです。団体に加盟しているおかげで、いろいろな情報や行事に接する機会が増え、そこから得られる様々な恩恵を毎日の授業に活かすことができます。

星の郷教室は、寝屋川市・枚方市・交野市で構成する大阪珠算協会Jブロックに所属しています。ブロックから協会の理事を必ず1名以上出す決まりになっていることから私は平成27年度より一般社団法人大阪珠算協会の理事を拝命し、28年度からは日本珠算連盟の教育研究部員も兼務するようになりました。それ以降、土曜日や日曜日に理事会や会合が頻繁に入るようになりました。土曜日の特別練習ができない週はすべて会議によるものです。

1月20日(土)は、通常授業終了後、ただちに静岡県浜松市に向かいました。日本珠算連盟主催による珠算指導者講習会の準備と実施のためです。講習会は教育研究部の担当で21日午前から始まり、情報交換会などを含めて4つの講座を計9時間ほど行って、22日(月)の正午前に終了しました。

講習の1つに高等学校の元校長先生のお話がありました。『珠算塾の教育的役割と指導者』という演題で、学校教育・家庭教育・珠算教室での教育・子育てに関して、とても含蓄のあるものでしたが、その中で触れられた「家庭での三つのしつけ」についてご紹介します。

家庭でのしつけは極論すれば三つで良いというもので、それら三つとは「あいさつ」「返事」「はきものをそろえる」ことだとおっしゃいました。

・あいさつ

一日を元気よく朗らかに過ごすための基本。子どもだけがするものではなく、一家全員で取り組むことが大切。

ご自身のお嬢様が高校生の頃ふてくされたような顔で挨拶もしないことを注意すると「頭が痛いから」と答えたエピソードを紹介していらっしゃいました。父親であるその校長先生は「ならば、まずそう言いなさい。就職して朝そんな態度で職場に行く」と全員に迷惑をかける。ちょっと具合が悪いのでごめんね、と断るだけで済む。周囲に無用な気を遣わせてはいけない」。

・返事

自分がしたいことがあっても、名前を呼ばれば行動をいったん止めて返事をさせる。このことから、わがままを抑える訓練につながっていく。

・はきものをそろえてぬぐ

次にはくときのことを考えてはきものをそろえる。次の行動への備えをする心の構えを育成する。

ご講演では「家庭でのしつけ」として話されていましたが、それは、家庭でのしつけを放棄してその代わりに学校がするべきものではないという意味です。星の郷教室でも、入退室時の挨拶、名前を呼ばれたときの返事、靴をそろえて収納することや靴を脱いだ後の足の運び(靴を脱いだ足を靴のすぐ横や後ろに運ぶ生徒がいますが、そこは外とつながる地面です)を指導します。ご家庭で基本的な習慣が身につけている生徒の場合は問題なく指導が通りますが、そうでない場合は、これらの行動に気をつける意味から説明していきます。

元校長先生は次のようなエピソードも話されました。

知り合いの経営コンサルタントは、「自分がコンサルタントした会社は必ず成功する」とおっしゃるそうです。

コンサルタントの依頼を受けるかどうかの判断は、社長がなさるのではなく、コンサルタント会社の受付係に決定権があり、

受付係が依頼を受けると決めた相手は必ず成功するといえます。

受付係が判断する材料はただ一つ。受付を訪ねてきたときの相手の態度が、コンサルタントの社長に対するものと同じかどうか。相手を見て態度を変えるような人間に成功は望めないというものです。

「良い人のコンサルタントしかしないのですから、その人はもともと成功する人なんです」。

○星の郷教室はそろばん教室ですから、そろばんの弾き方や使い方を学び、暗算で同じことができるように練習を重ねる場です。効率よく学習できるように、指導法や教材を考案・改良し、早期上達を目指して各種大会や検定試験に積極的に参加しています。

また、星の郷教室は子どもたちが大人になるまでの一時期を過ごす場でもあります。毎日のように出席しては2～3時間ぶっ通しで練習するというかなり濃密な時間を過ごす生徒もたくさんいます。

自分で課題を見つけ、解決する方法を考え、努力をして困難を克服していく様は、なかなか圧巻です。これらの経験をたくさん積むための手段としてそろばん学習があり、集中できる環境を整えるのが教室の役割です。

技術が伸びれば伸びるほど、経験もたくさん積んでいきます。ほどほどの悔しさとうれしさを日常的に感じながら、子どもたちは少しずつ成長していくのです。

○「相手によって態度を変えることの心の貧しさ」を紹介した塾報に書くのもどうかと思いますが、私も「相手によって態度を変える」一人です。

生徒が質問に来ます。ある生徒には質問に答え、ある生徒には自分で考えるように

話し、またある生徒には「今度間違えたら助けます」と言って自力でさせることがあります。

態度の違いは、大げさに言えば、その質問への対応を何につなげていくかということになります。

教えなければならぬか、教えた方が良いか、教えない方が良いか、教えてはいけないか。

教える場合でも、指導するか示唆にとどめるか。

示唆するにしても前に立って引っ張り上げるか、背中を押すか。

教えないときでも、指導席で独力でさせるか自席に戻って取り組ませるか。

質問内容、今までの理解力、意欲、目の力、声の大きさなども判断材料にしながらか多くの選択肢から手を選びます。それは生徒の成長にとって、（成長する長い期間から見れば）一瞬に過ぎない時間であるかもしれませんが、しかしその一瞬は確実に今この場でしか起きていない一瞬であることを考えると、適当に済まして安易に教え込んだり突き放したりすることに少なからず躊躇を覚えるからです。

自分の都合と言ってしまえばそれまでかもしれませんが、受付係に対して態度を変えるような「都合」とは一線を画すと自負はしているつもりです。

○年賀状を頂きました生徒の皆さん、保護者の皆様、どうもありがとうございました。今年は喪中のため、教室からのご挨拶を控えさせて頂きました。

○寒中お見舞い申し上げます。今年ほどこの言葉がピッタリくるのは過去に無かったのではないのでしょうか。授業の入れ替え時、教室前で立つには天然の肉襦袢では足りず、ネックウォーマーの助けを得たのは今年が初めてです。